



輝いている人

聞く人を感動させる
心に届く音を打て

備中温羅太鼓の創設者で代表、岡山県和太鼓連盟の会長を務め、総社で開催する国民文化祭「和太鼓の競演」をプロデュースする塩尻司さんだ。

「総社に魅力ある郷土芸能がほしい」。砂川の山中でみかん箱をたたき、見よう見まねで和太鼓を始めたのは今から34年前の昭和51年。備中温羅太鼓の誕生だった。「最初は6人。夏は蚊に悩まされ、冬は寒さに震えながら、無我夢中だった」と当時を振り返る。

発足時からのメンバーは塩尻さんだけになった。自ら作曲した代表曲の「温羅」のほか持ち曲は約60曲。国内外で数多くの公演を行い、今年、延べ1000回を超えた。「最低で2人、最高で5万人のお客さんの前で演奏できたことが思い出」と話す。

大太鼓を一打するだけで一切を伝える「一つ」という曲がある。若い打ち手には「聞く人を感動させる、心に届く音を打て」と檄を飛ばす。この精神が備中温羅太鼓の根底にある。

一方で、和太鼓の良さを伝えようと、幼稚園児や公民館の講座生などの指導にも力を注いでいる。

国民文化祭の「和太鼓の競演」では2日間でプロも含め県内外から38の大鼓グループが集まる。開催が近づき、準備に忙しい毎日だが、「吉備の国をアピールしたい」と意気込む。

話し始めると、止まらない話好きで、公演の幕間でもマイクを持つとつい饒舌になる。「和太鼓をたく体験もできる。会場に来て、和太鼓を堪能してほしい」と目を細める。

塩尻 司さん(総社三丁目)

国民文化祭「和太鼓の競演」をプロデュースする



赤ちゃんにとって「絵本」って？

「0歳から絵本？赤ちゃんにわかるの？早すぎない？」とつい思いませんか？0歳の赤ちゃんでも、お母さんのやさしい語りかけを聞いたり、知っている身近なものを見つけたり、絵本を楽しむことはできます。

最初に接する絵本は、きれいな色で、はっきりした絵の本がいいでしょう。1歳からは言葉の繰り返しや生活絵本。2歳からは簡単なストーリーも楽しめるようになります。

赤ちゃんにとって絵本はおもちゃの一つです。ひっぱったり、なめたりは当然。そんなときには丈夫なボードブック(厚紙絵本)がおすすめです。

そして、赤ちゃんといっしょに絵本を楽しむときは、読むことに一生懸命にならず、「いっしょに見合う」ことに気を配ってください。同じ絵本を眺めて、おしゃべりしながら、親も子も楽しいと思えば十分。また、絵本と向き合うときはテレビを消して、周囲を落ち着いた状態にすることも大切です。

親子でゆったりと過ごす時間は、赤ちゃんの心にしっかりと栄養を注いでくれます。まずは、赤ちゃんのご機嫌のいいときに、周りの大人もゆったりとした気持ちで、絵本を開いてみませんか。

問い合わせ 市図書館 (☎93-4422)

キッズにっこり
家庭応援談
7

栄養委員さん
おすすめおやつ

小松菜の蒸しケーキ

(1個分 105kcal)



◆材料・数量(7~8個分)

- 小松菜……50g、
- A……卵=1個、砂糖=35g、レモン汁=少々、油=20g、ヨーグルト=25cc
- B……薄力粉=70g、ベーキングパウダー=大さじ1/2
- レーズン……15g
- ニンジン……15g

◆作り方

- ①小松菜を洗い、小さく切っておく。
- ②Aと①をすべてミキサーにかける。
- ③Bを合わせて振るう。
- ④②と③をボールに入れてざっくり混ぜ、アルミケースに入れる。
- ⑤粗みじんにしたレーズンと、5mm角に切ってゆでたニンジンを④にのせる。
- ⑥蒸し器で約10分蒸す。